JEFF ROWLAND
DESIGN GROUP

Continuum 500

取扱説明書

株式会社太陽インターナショナル

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9

日本橋グレイス 1F

Tel : 03-6225-2777　Fax : 03-6225-2778

<URL> http://www.taiyo-international.com

目次

はじめに.................................... 2

ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）............ 3

パッケージの中身........................... 4

パッケージの開梱........................... 5

メンテナンス、お手入れ、保護システムについて...... 6

設置について................................ 7

ご使用方法.................................. 8

リアパネルの接続（ライン、スピーカーケーブル）......... 10

リアパネルの接続（電源）........................ 12

リモートコントロールについて................... 13

故障かな？と思ったら 14

アフターサービスについて...................... 15

仕様.. 16

問い合わせ先................................. 17

はじめに

ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループのオーナーとなられましたことを、心よりお喜び申し上げます。お買い上げいただいたコンティニュアム500は、世界で最も優れたオーディオアンプであると確信しています。コンティニュアム500の綿密に設計された内部と精密に作り出されたシャーシー、製造技術の確かさは、リスナーに大きな満足と喜びを提供し続けることでしょう。

コンティニュアム500の設計理念を理解していただきその最高の性能をフルに引き出すためにも、是非このオーナーズマニュアルをお読みくださるようお願い申し上げます。

お買い上げのインテグレーテッドアンプのシリアルナンバーは、CUの文字から始まります。このナンバーは保証書及び本体のリアパネルに記載してあります。コンティニュアム500に関するお問い合わせの際には、必ずこのシリアルナンバーをお知らせください。

音やアーティストの表現を再現する際の高邁な理想を実現できるようなアンプをデザインすることは、私にとって純粋な喜びです。この喜びがオーナーの方々の音楽体験をより豊かにできれば、幸いです。

Enjoy the music!

ジェフ・ロゥランド
ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ　プレジデント

ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）

本機をご使用になる際には、安全上のご注意をよくお確かめ下さい。
以下の注意事項は安全にお使いいただくために大切な内容です。必ず守るようにして下さい。

⚠ 警告：誤って取り扱うと、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
⚠ 注意：誤って取り扱うと、傷害又は物的損害などの発生に結びつく可能性があります。

［設置上のご注意］

⚠ 警告

・定格電圧ＡＣ 100V にてご使用下さい。
・付属の AC 電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
・AC 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・AC 電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
・水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐに AC 電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

・本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにして下さい。
・本機の取り出し、及び設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにして下さい。落下等でケガや物損を招く原因になります。
・湿度の多い場所で使用しないで下さい。結露等により故障の原因となります。
・ゴミやホコリの多い場所では使用しないで下さい。
・室内温度が５℃～４０℃の範囲でご使用下さい。
・振動が多く、水平でない場所には設置しないで下さい。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
・オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかり取るなど熱のこもりには充分注意して下さい。故障の原因になる場合があります。
・スピーカーケーブルの接続は、必ず電源が入っていないことを確認してから行って下さい。電源を入れたままスピーカーケーブルの「＋」と「－」をショートさせると故障の原因となります。

［お手入れについて］

・本体の汚れは、柔らかい乾いた布（シリコンクロス等）で軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性の薬品のご使用は、絶対におやめください。本体の表面が変質する恐れがあります。

⚠ 注意

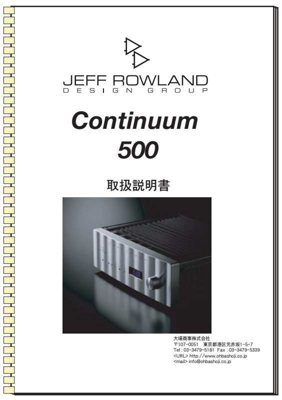
・リアパネルの端子等のお手入れの際には、必ずＡＣ電源ケーブルを抜き電源をお切り下さい。感電の原因となることがあります。

パッケージの中身

コンティニュアム500のパッケージには下記のものが含まれています。

●コンティニュアム500　本体
●リモートコントロール
●ＡＣ電源ケーブル
●３Ｐアダプタ
●保証登録書
●取扱説明書

注意：付属のAC電源ケーブルは、コンティニュアム500専用ケーブルですので他の機器に
使用しないで下さい。



パッケージの開梱

コンティニュアム500は重量があります。本機の取出し、及び設置の際には細心の注意で慎重に行なって下さい。落下等で怪我や物損を招く原因となります。開梱は柔らかい表面のカーペット等を敷いた上で行なってください。

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及びお引越等で輸送される場合に備えてお手元に保管されるようお勧めします。

※本製品は米国ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ社、及び当社において外観、機能ともに入念な検査を重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないかを必ずご確認ください。また到着したアンプが正しく作動しないときは、すぐお買い求めの販売店までご連絡ください。

メンテナンス、お手入れ、保護システムについて

ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループの製品は、長年に渡りその音楽的性能をお楽しみいただけるように設計いたしました。内部に埃が入らないようにシャシーは密封構造となっており、シャシー内部をクリーニングする必要はありません。内部の回路は調整やメンテナンスの必要がないように、自動調整できるようになっています。修理等の際には、お買い求めの販売店か当社サービス課までお知らせ下さい。

コンティニュアム500のシャシーは航空機グレードのハード・アルミニウムによるくり抜き加工という､コストを無視した革新的な構造になっています。フロントパネルはダイヤモンド･カッティングツールで削り出されています。このユニークな工程は、美しく魅力的な製品をお届けするために、長年の研究、試行によって完成されたものです。

表面は通常のオーディオやビデオの表面とは異なっていますので、お手入れの際は以下の点にご注意下さい。

・ 最初の６ヶ月間はフロントパネルのクリーニングは行わないで下さい。この間に表面のコーティングが定着し、表面の傷を防ぎます。
･トップカバー､サイドカバー､ボタンカバーは､水で湿らせた柔らかい綿布で拭きます｡水はシャシーには直接つけず、布につけます。シャシーに跡が残った場合、研磨剤や化学物質によるクリーナーは使わないで下さい。クリーナーが必要な場合は、アンモニアを含まないプラスチック・クリーナーまたはガラス・クリーナーをご使用ください。
・フロントパネルのお手入れには、水またはオイルベースの家具用クリーナーを使用します。必ず柔らかい綿の布につけてから拭いてください。フロントパネルは非常に繊細な仕上がりですので、他のもので拭いた場合、目立つ傷がつく可能性があります。

＜保護＞

雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するため、アンプのAC電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様にAC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
また長期間使用しないときにもAC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

設置について

アンプの設置場所は、できるだけリアパネルの操作が可能な場所に置いてください。

コンティニュアム500はアンプの最も効率的なオペレーション、あらゆる環境下での最高のパフォーマンスが可能なように、広範囲にわたる保護回路を有しています。しかしアンプを正常動作させるため、以下の基本事項に着目しておいてください。

・定格電圧AC100Vにてご使用下さい。
・湿度の多い場所では使用しないで下さい。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になりかねません。
・AC電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・AC電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。（改造されたものは、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください）
・水などで濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにＡＣ電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことをご確認の上、お買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのままの状態でご使用になると、火災・感電の原因になります。
・コンティニュアム500を使用の際は、正しくグラウンドされたAC電源を使用してください。３ワイヤのグラウンドされたACケーブルターミナルが正しくセットされていなかったり、誤って２ワイヤのグラウンドされていないACコードが使用されている場合、故障の原因になりかねません。
・雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するためアンプのAC電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様にAC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
また長期間使用しないときにもAC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
・スピーカーケーブルの接続は、必ず電源が入っていないことを確認してから行って下さい。電源を入れたままスピーカーケーブルの「＋」と「−」をショートさせると故障の原因となります。

ご使用方法

❶ INPUT INDICATOR 1～6（インプット・インジケーター）
入力セレクトボタン❹で選択したインジケーターが青く点灯します。

❷ VOLUME DISPLAY　　ボリュームディスプレイ
00.0から99.5まで0.5dB刻みで表示いたします。また、リモートコントローラの受光部にもなっています。

❸ VOLUME CONTROL（ボリュームコントロールつまみ）
時計回りに廻すとボリュームレベルがあがり、反時計回りに廻すとボリュームレベルが下がります。このボリュームは、ゆっくり廻すと少しずつボリュームレベルが変化し、早く廻すと大きくボリュームレベルが変化します。

❹ INPUT SELECTOR BOTTON 1～6（入力セレクトボタン）
リアパネルに接続されている入力ソース（CD､チューナー､レコードプレーヤーなど）を選択します。選択された番号のインジケーターが青く点灯します。

❺ BYPASS MODE（バイパスセレクトボタン）
このボタンを押すと、リアパネルのバイパス入力が選択されます。バイパス入力は特別なもので、ゲインがゼロに設定され、モード、オフセット、バランスがありません。すべての機能が使用停止となり、BYPASSランプが点灯します。チャンネルセレクトボタンのどれかを選択すると普通のモードに戻ります。

❻ PHASE（フェイズ切換ボタン）

このボタンを押すと､フェイズが 180 度逆相になります。逆相の時には PHASE ランプが点灯します。再度スイッチを押しますと PHASE ランプが消灯し、位相はノーマルになります。

❼ MUTE MODE（ミュートボタン）

このボタンを押すと出力信号がミュートされ、MUTE ランプが点灯します。再度押すとミュートが外れ、MUTE ランプが消えます。

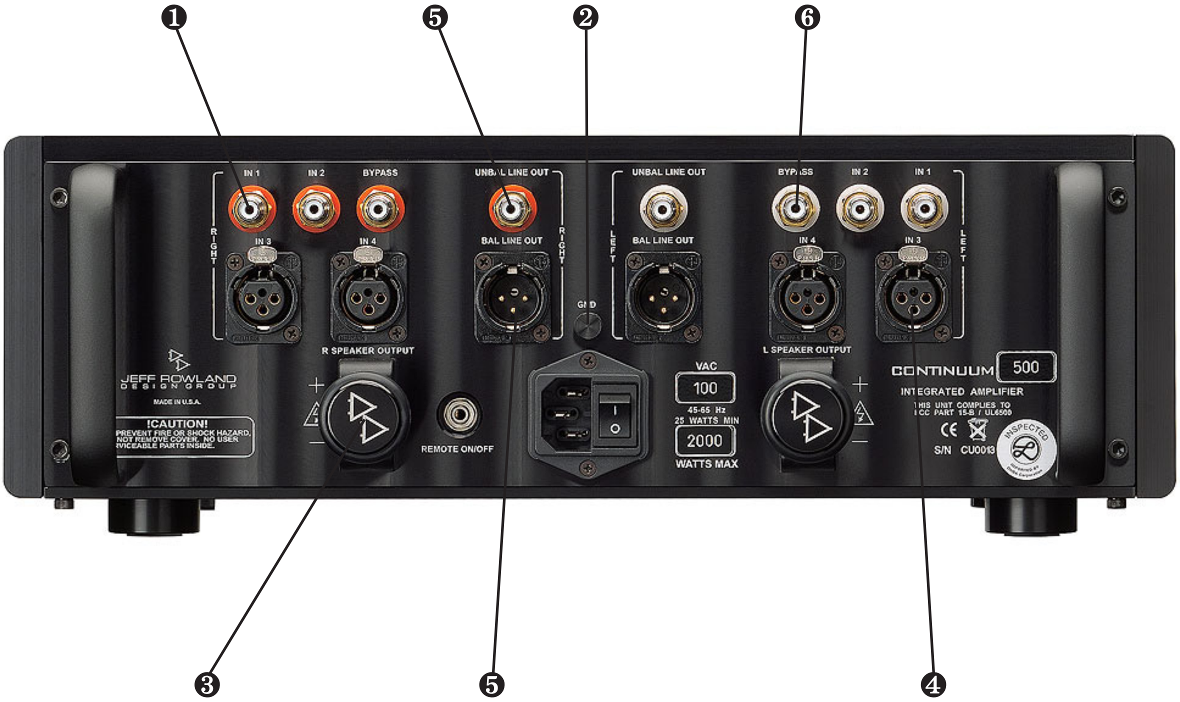
◆ NOTE ◆

リアパネルのインターコネクトケーブルの接続を行うときなど、大変便利です。その都度電源を切ったり、入れたりせずに MUTE/ON でケーブルの抜き差しが行えます。

◆ NOTE ◆

本機には高性能のマイクロプロセッサーを搭載しているため、まれに静電気等による誤作動が起こりエラー等の発生することがあります。その場合には、ミュートボタンを数秒間押し続け、リセットしてください。

リアパネルの接続（ライン、スピーカーケーブル）



❶ UNBALANCED INPUT 1 ～ 2（アンバランス入力）
ライン（CD、チューナー等）入力端子です。入力機器が RCA 接続の時に使用します。オプションの Phono モジュール付きの場合、INPUT 1 にアナログレコードプレーヤーの出力をこの端子に接続して下さい。(Phono モジュールを搭載していない場合、INPUT 1 と同じ通常の RCA ライン入力となります。)

❷ GND（グランド端子）
レコードプレイヤー（トーンアーム・ターンテーブル）のグランドと接続する端子です。グランド接続を正しく行わないとハム音が出る場合があります。

❸ SPEAKER OUTPUT（スピーカー出力端子）
まず円形ノブをゆるめ、端子へのアクセスが可能な状態にします。スピーカーケーブルのプラス(通常、赤）をプラス端子に、スピーカーケーブルのマイナスをマイナス端子に、左右それぞれのチャンネルについて接続します。スピーカーの接続がきちんと閉まったかを、指で動かすなどして確認して下さい。
本機はスピーカーケーブルはスペードプラグ（Y ラグ）のみ接続可能です。バナナプラグや未処理のワイヤ－は使用できませんので、必ず処理をしてからご使用ください。

> ⚠ 注意
>
> スピーカーケーブルを接続する際には必ず電源を OFF にして下さい。ショートするとアンプを損傷するおそれがあります。

⚠ 注意

アンプは店頭でのデモに使われるようなスピーカーの切り替えスイッチボックスなどを介しての使用はできません。損傷がおこる可能性があります。

❹ BALANCED INPUT 3～4（バランス入力）

ライン（CD、チューナー等）入力端子です。入力機器が XLR 接続の時に使用します。もし入力機器が RCA、XLR 共にあるときは XLR（バランス）接続をお勧めいたします。

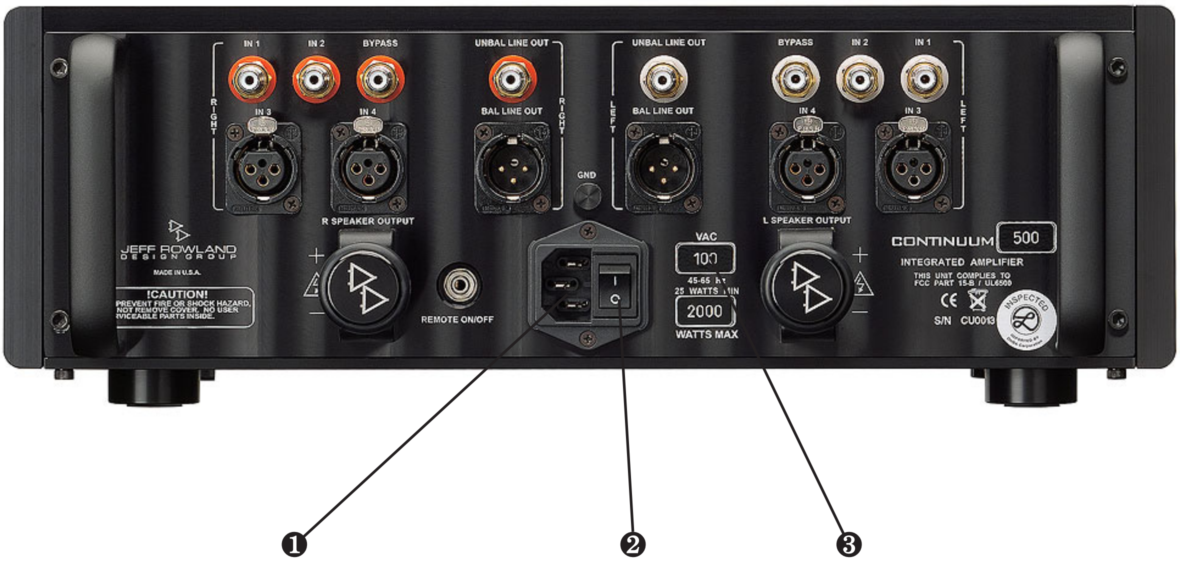
❺ LINE OUTPUT（プリアウト出力）

プリ部だけを出力し、他のパワーアンプ等と接続する端子です。バイアンプ等で使用するときにパワーアンプ等と接続します。この２系統の出力端子は回路的には同じものですので、どちらを使用してもかまいません。

❻ BYPASS INPUT（バイパス入力）

ホームシアター用サウンドプロセッサー等の出力端子と接続する端子です。市販の RCA アンバランスケーブルを使用してください。

リアパネルの接続（電源）



❶ AC POWER INPUT（AC 電源 100V 入力端子）
付属のＡＣ電源ケーブルを接続します。

❷ AC POWER（AC 電源スイッチ）
AC 電源スイッチが「○」が押されていている場合は OFF、「｜」が押されている場合は ON です。全て接続してから ON にして下さい。

❸ VOLTS AC（ヴォルテージ表示）
100 と表示されています。

◆ NOTE ◆

本機の消費電力は非常に低いので、アンプの位置を変える時や、スピーカーケーブルを接続する以外は電源を切る必要はありません。

⚠ 注意

AC 電源ケーブルは、クリーン電源や安定化電源は使用せず、壁からのコンセントに直接接続して下さい。アンプの故障の原因となります。

リモートコントロールについて

［リモートコントロール］

入力セレクター、ミュート、ボリュームコントロール、左右バランス調整が操作可能です。リモートコントロールの送信部をディスプレイ (a) に向けて操作してください。

＜バランスコントロールについて＞

本機はこのリモートコントロール使用に於いてのみ左右のバランス調整の操作が可能です。リモートコントロールの操作ボタンには❺ BAL L と❻ BAL R があり、どちらか一方のボタンを押す毎にそのチャンネルが +0.5dB シフトされ、逆のチャンネルがに -0.5dB シフトされるため左右トータルのバランスは 1dB シフトされます。この方法を採用することによって絶対音量が一定に保たれます。最大片チャンネルで 3dB のシフトが可能です。

本機にはこの左右のバランスがどちらにどれだけシフトされているかの表示がなく、もしフラットの状態の位置がわからなくなった場合には、ミュートボタンを数秒間押し続けて下さい。リセットがかかり、この状態でフラットの位置に戻ります。

(a) 音量ディスプレイ／リモートコントロール受光部

ディスプレイには 00.0dB から 0.5dB 刻みで 99.5dB までのボリュームが数字で表示されます。

［リモートコントロールの電池交換について］

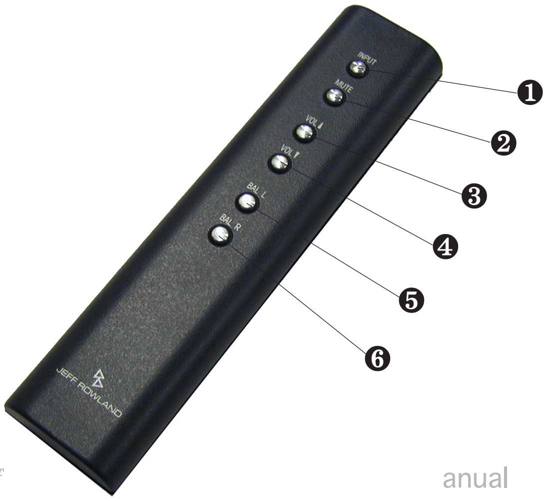
裏面にあるプラスネジ（２本）をゆるめ、裏ぶたを取り外してください。乾電池はアルカリの９Ｖ型 (006P) を使用してください。

◆ NOTE ◆

本機のリモートコントロールは赤外線方式のため、他の電化製品等でリモートコントロールをご使用時に、テレビの音量が連動して上がってしまうなど、まれに誤作動をすることがあります。その場合は該当機器を離すか、又は当社サービス課までご連絡ください。

◆ NOTE ◆

電池を交換後、リモートコントローラーがロックアップする場合があります。その際は、電池をはずした状態で１日放置し、再度電池を取り付けてください。



❶ INPUT
❷ MUTE
❸ VOL ↑
❹ VOL ↓
❺ BAL L
❻ BAL R

故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に、下記の点を確認してみてください。

電源が入らない

・パワーサプライのＡＣ電源ケーブルは、正しく接続されていますか？
・コンセントに AC100V が通じていますか？

音が出ない

・オーディオケーブルは、正しく接続されていますか？
・アンプのボリュームレベルは、上がっていますか？
・アンプのラインセレクターは、合っていますか？
・ミュートボタンが押されていませんか？
・電源スイッチを ON にしていますか？

レコードプレーヤーの音にハムが入っている

・レコードプレーヤー（トーンアーム、ターンテーブル）のグランドと本機のグランドが正しく接続されていますか？（正しく接続されていないとハム音が入る場合がありますのでご注意ください。）

リモートコントロールが働かない

・電池電圧が低下していませんか？

以上、上記の項目をご確認の上なお製品に異常が見られる場合は、お買い求めの販売店又は当社サービス課までご相談ください。

◆ NOTE ◆

本機には高性能のマイクロプロセッサーを搭載しているため、まれに静電気等による誤作動が起こりエラー等が発生することがあります。その場合には、一度電源を落とし、30 秒ほど経過してから再び電源を入れてください。

◆ NOTE ◆

電池を交換後、リモートコントローラーがロックアップする場合があります。その際は、電池をはずした状態で１日放置し、再度電池を取り付けてください。

アフターサービスについて

・同封の保証登録書に必要事項をご記入の上、ご購入後１０日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はお買い上げより１年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなお異常のある場合には、お買い求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

仕様

出力（連続 RMS watts）	@8Ω=500W @4Ω=1000W
周波数帯域	5Hz 〜 45kHz, -3dB
最大出力電流	40A
ダイナミックレンジ	120dBA
THD+Noize（高調派歪＋ノイズ）、 0.1W 〜 500W/4Ω	0.1w 〜最大出力 0.1%以下、通常 0.01%@1kHz
ダンピングファクター	1000
ゲイン構成	
プリアンプ部	14dB
パワーアンプ部	26dB
入力インピーダンス	
アンバランス	48kΩ
バランス	48kΩ
位相	Noninverting, pin 2 Positive
入力端子	
バランス	2pr (XLR)
アンバランス	2pr (RCA)
バイパス	1pr (RCA)
出力端子	
スピーカーターミナル	1pr
バランス	1pr (XLR)
アンバランス	1pr (RCA)
ゲインレンジ	99.5dB, 199 ステップ
消費電力	35W（アイドル時）／ 2000W（最大）
外寸 (mm)	W395 × H135× 380 (最大寸法)
重量	20kg

※ 本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

株式会社 太陽インターナショナル

〒103-0027

東京都中央区日本橋 2-12-9

日本橋グレイス 1F

TEL : 03-6225-2777（代表）

03-6225-2779（サービス課）

FAX : 03-6225-2778

ホームページ : http://www.taiyo-international.com

2010.11.1